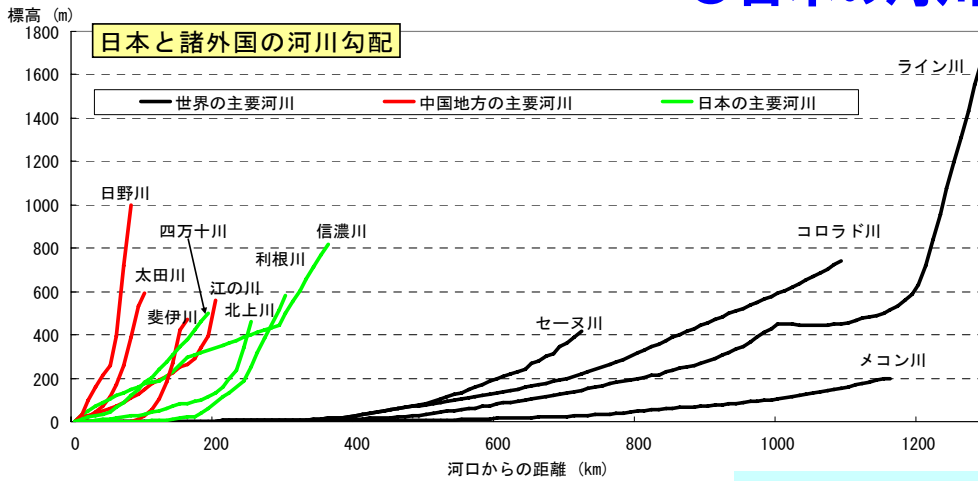


2. 日本のダムの宿命！

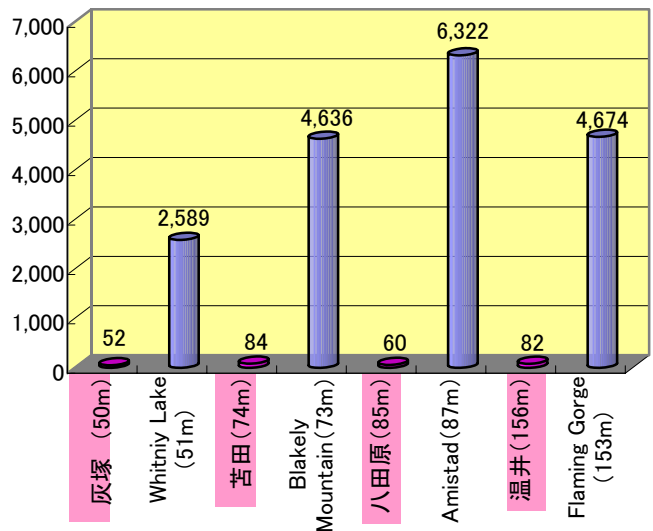
～日本のダムは洪水を全てためることは出来ない～

●日本の河川は勾配がきつい



●日本のダムは容量が小さい
米国で同程度の高さのダムは日本の数十倍の容量

日本と米国のダム容量 (百万m³)



高さ85m程度の日本と米国のダム容量

日本のダム

八田原ダム(総貯水容量約6000万m³)

(イメージ図)

約100倍

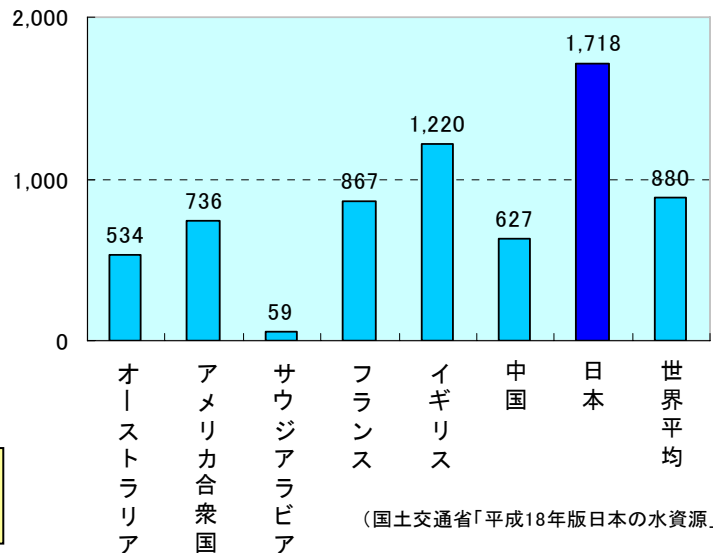
米国のダム

Amistadダム(総貯水容量約63億2200万m³)

日本の川は勾配が急 → だから、日本のダムには少しの水しか貯めることはできない！

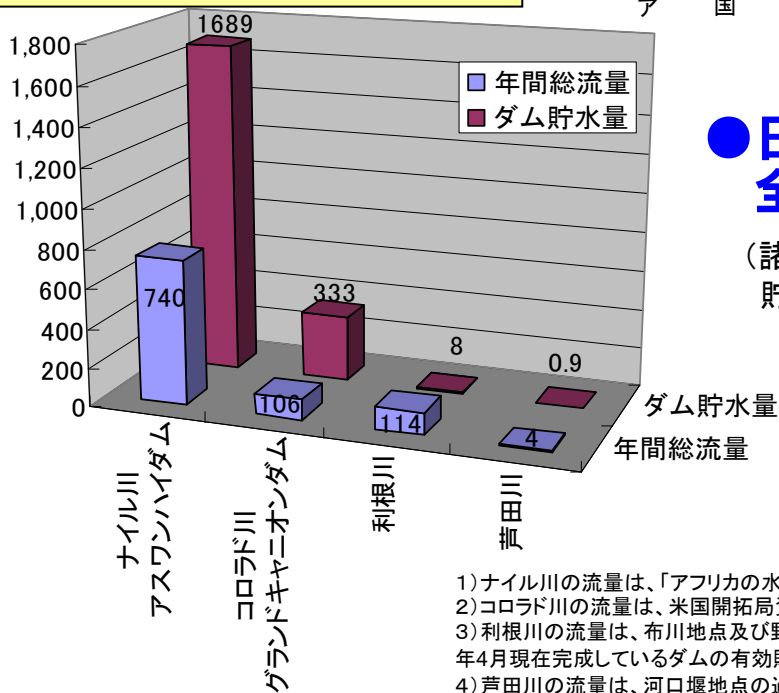
●日本の降水量は諸外国より多い

世界各国の降水量(mm/年)



(国土交通省「平成18年版日本の水資源」より)

日本と諸外国の河川の年間総流量とダムの容量(億m3)



●日本のダムは洪水を全て貯めることはできない

(諸外国には1年間の全ての洪水を貯めることができるダムがある)

- 1) ナイル川の流量は、「アフリカの水」によるアスワン地域の流量。
- 2) コロラド川の流量は、米国開拓局資料によるグレンキャニオンダム地点流量。
- 3) 利根川の流量は、布川地点及び野田地点の過去5年間平均流量。ダム貯水量は、平成8年4月現在完成しているダムの有効貯水容量の合計で、利水ダム含む。
- 4) 三田川の流量は、河口堰地点の過去5年間平均流量。ダム貯水量は、平成18年4月現在完成しているダムの有効貯水容量の合計で、利水ダム含む。

●日本のダムは容量が小さく、降水量は多く、ダムに洪水を全て貯めることは無理！

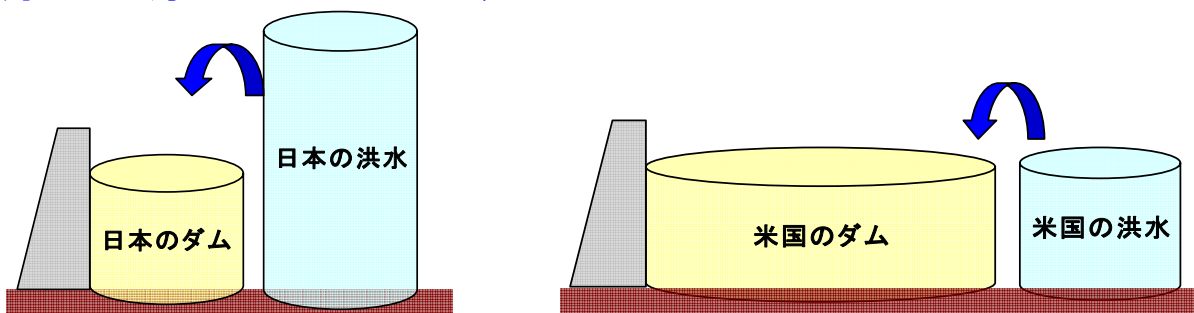


●だから、ダムから洪水の一部を下流に流します

◎ダムと河川の堤防で力をあわせ、大きな洪水による被害を少なくします

●日本
容量は小さく、洪水の量は大きい
(洪水を全て貯めることはできない)

●米国
容量が大きく、洪水の量は小さい



日本と米国のダム容量と洪水量のイメージ図